# 7月例会を終えて

主幹　総務広報委員会　委員長　浅野裕美

第47回岩手ブロック大会in釜石にメンバー12名で参加して参りました。
フォーラムでは「キッズコーラス♪あぐどまめ」さんの、のびのびとした歌声と「地域の魅力を発信したい！～大槌町の挑戦～」大槌町×Pokemon Goの発表と大変楽しめる内容となっておりました。
また「地域の活性化に向けて～個性を生かすアイデアと行動力～」樋渡啓祐氏の講演は非常にエネルギッシュで先進的アイデアに溢れており、樋渡氏の行動力、底知れぬ自信が全面的に見て取ることができ笑いを交えながらの講演に誰もがパワーをもらったのではないでしょうか。失敗を恐れない！出来ない理由を探すより、出来る方法を考える。菅原公正理事長の基本理念「できない理由はない！できる方法を探そう！できる努力をしよう！」のそのものでした。
また、メンバーと大槌町を探索し、復興状況や大槌の自然に触れ有意義な一日となりました。
今回の岩手ブロック大会の一番の思い出は、開催前に行った「自転車引継ぎ」でした。この自転車引継ぎというのは、オリンピックの聖火リレーの様に大会開催地から次の開催地まで自転車に乗って繋ぐ事業で、昨年は一関が開催地でしたので今年の開催地、釜石までメンバーと2日に分けて繋ぎました。担当委員長としてやる気満々な私でしたが、何度もおとずれる峠、真っ暗なトンネル、ループ橋、往来するトラックに誰もが心折れそうになりながら、それでも前に進む事ができたのは交代地点で待っているメンバーがいたからこそ慣れないマウンテンバイクで代わる代わる繋ぐことが出来ました。一人では絶対出来ない事もメンバーがやるから、メンバーが繋いできたから頑張れる。これもまた菅原公正理事長の基本理念「できない理由はない！できる方法を探そう！できる努力をしよう！」をメンバー一丸となって成し遂げました。岩手ブロック大会当日の大槌町までの車中で「ここは〇〇さん担当だったよね」「ここはきつかったよね」と尽きない話題が、私の一生の思い出となりました。今となれば達成感しかありません。後5ヵ月のJC活動も終わってみればきっとそうなのだろうと思います。微力な私に協力して下さった全てのメンバーに感謝致します。本当にありがとうございました！

理事長の今月の格言

**私たちの最大の弱点は諦めることにある。**
**成功するのに最も確実な方法は、**
**常にもう一回だけ試してみることだ。**

トーマス・エジソン

**「了解しました」×　「かしこまりました」〇**
「了解しました」は、「了解」に「しました」をつけた丁寧語で、尊敬語ではありません。
部下や同僚に使う場合は問題ありませんが、目上の人やお客様に対して使うのは失礼にあたります。
「承知しました」「かしこまりました」が適当です。
**「大変参考になりました」×「大変勉強になりました」〇**
「参考」という言葉は、“自分の考えを決める際の足しにする”といった意味で、目上の人や取引先の人に使うと失礼にあたります。
相手に「参考程度だったのか」と思われないよう、「勉強になりました」という表現を使用すると良いでしょう。

## ことし道

「陶芸家に俺はなる！！」18歳の時に急に思った。よく聞かれたが何故かはわからない。それから学校に行って勉強し、有名作家のもとに弟子入りした。一関に来てデビューしようと思い、働いて金を貯めて機材を買って、なんやかんやで挫折したw所詮はこれもこじらせだったのだ…人生最大のこじらせ！　その後、40歳を迎え今日に至る。人生何があるか分からない。JC卒業後は何するのって聞かれたら週末陶芸家になるよと答えてる。60周年の時にみんなで作ったぐい呑見てたら色々思うところがありまして一、今度はユルく楽しく週末陶芸家になろうと思う。

## 7回目 浅野流

7月といえば、我が社では「健康診断」月間☆私にとって、体重の帳尻を合わせる月でもあります(”_”)ディスクワークなので常に椅子に座って運動不足になりがちな状況を打開すべく椅子を「バランスボール」に変えました!(^^)!以前メンバーの京屋染物店の蜂谷さんのオフィスを見てビックリ！椅子がバランスボール‼でも私はバランスボールじゃ仕事に集中できないから無理そう…炭水化物減らして、お酒も控えればいっか☆…と思っていましたが、それが1番無理でした( ;∀;)取り入れた2.3日はパソコン打ちながら横に転倒、座ったつもりがそのままボールに乗り後ろに転倒と散々でしたが、1週間経つと大分慣れました(^^♪仕事しながらウエストを回したりできて時間を有効に使っている感があります☆しかもふくらはぎが筋肉痛になりました♪運動している証拠(＊´艸｀)今後も続けます☆☆☆☆☆☆

## 青年会議所　JCとは

青年会議所（JC）は“明るい豊かな社会”の実現を理想とし、次代の担い手たる責任感をもった20歳から40歳までの青年の団体です。人種、国籍、性別、職業、宗教の別なく、自由な個人の意志によりその居住する各都市の青年会議所に入会できます。
日本の青年会議所運動は、現在697の地域約36,000名の会員を擁し、全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所が東京にあります。全世界に及ぶこの青年運動の中枢は国際青年会議所ですが、100以上の国及び地域に117のNOM（国家青年会議所）があり、約16万人の会員が国際的な連携をもって活動しています。
日本青年会議所の事業目標は、“社会と人間の開発”です。その具体的事業としてわれわれは市民社会の一員として、市民の共感を求め社会開発計画による日常活動を展開し、「自由」を基盤とした民主的集団指導力の開発を推し進めています。さらに日本の独立と民主主義を守り、自由経済体制の確立による豊かな社会を創り出すため、市民運動の先頭に立って進む団体、それが青年会議所です。